

2 まちづくりに関する課題整理

2-1 現況から抽出される主要課題

	内 容
①位置と地勢からみた課題 (地理的条件に関する課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が将来的に都市機能を充実させ発展していくには、京阪神都市圏をはじめ広域的な都市間連携を強化していく必要がある。なかでも千里中央地区との連携による拡大新都心の形成は、大阪府の多核環状型都市構造の一端を担い、そして市域の中心核としての役割が望まれるものである。また、市域内の均衡のとれた発展のためには止々呂美地区などの地理的に不便な可住地への連携強化や利便性を向上させる都市基盤施設の整備が望まれる。 ・市域の3分の2をしめる山林・山麓地は、景観形成やレクリエーション利用などの都市環境形成面や、広域的な地域環境保全面からみて貴重な自然資源であり、保全を基調として有効活用を図ることが望まれる。
②歴史と沿革、土地利用状況からみた課題 (市街地拡大に関する課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の市街化は住宅地を中心に進んでおり、今後もその都市特性は継承していくべきである。しかし、無秩序な開発による狭小・過密住宅の建設の進行や、老朽住宅の密集地で防災上危険な地区の存在は、住環境を悪化させ、住み良いまちづくりを進めるうえでの課題である。 ・今後の丘陵部における新市街地形成をはじめとした市街地の拡大に対しては、適正な基盤施設の整備・更新を進め、また、できる限り自然環境へ配慮していく必要がある。 ・魅力的な生活環境づくりとしては、住宅地を取りまくその他の土地利用の適正な配置や自然的土地利用の保全を進めるほかに、土地特性、歴史特性を生かしていくことも今後望まれる。
③人口の動向からみた課題 (社会生活に関する課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・中・東部地域への人口増加の偏重や、開発による新市街地の将来的な人口増加に比して、交通機能や商業機能などの都市機能をバランスよく充足させて均衡あるまちづくりを進めていく必要がある。 ・まちの活力の維持として、高齢者をはじめあらゆる世代が住み続けられ、また、楽しみ、働くといった活動できる環境づくり(バリアフリーなど)を進めていくことが望まれる。 ・市街地の拡大に伴う人口の増加や、流動人口の流出傾向及び核家族化の進展は市民のまちへの愛着や、市民連帯性を希薄化させることもあり、今後は歴史的・文化的ストック及び景観を生かしたまちづくりを進めることや、市の中心的なにぎわい・交流拠点の形成及び地域の交流拠点の形成が望まれる。
④産業の構造からみた課題 (産業振興に関する課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・本市には中心的な産業はないが、産業は都市活力を支え、都市魅力を築く要素であり、今後都市を発展させていくうえで、都市特性を生かした産業振興が望まれる。なかでも中部地域のコム・アート・ヒルの構想については本市の商業振興だけでなく、まちづくりに大きく寄与するよう誘導していくことが望まれる。また、まちの活性化の視点から、桜井地区などの古くからの住宅地での消費活動を支える商業振興も望まれる。 ・丘陵部の新市街地においては、良好な自然環境に囲まれ、周辺地域の学術的ストックと連携できる立地を生かして、本市の顔となる産業機能の導入が望まれている。 ・観光都市として特性を活かすことも今後望まれる。

2-2 計画・構想中の主要プロジェクト概要

本市の将来の都市構造、土地利用変化に対して影響力の強いプロジェクトを整理する。

	概 要	都市計画上の課題
①国際文化公園都市	開発面積：箕面市約164ha、茨木市約579ha 居住人口約50千人、施設人口約24千人 「学術文化」「国際交流」「研究開発」の機能を持つ複合機能都市	・交通基盤の整備 ・区画整理の推進
②水と緑の健康都市	開発面積：約313.7ha、 居住人口約16.5千人、施設人口：約5千人 余野川ダムと一体整備される、水際空間、自然が豊かな長寿社会に対応したエイジレスタウン	・交通基盤の整備 ・区画整理の推進
③箕面新都心	萱野中央特定土地区画整理事業（約22.6ha）を中心に北大阪急行線の延伸や国道423号バイパスに対応 千里中央地区と連携する拡大新都心の一端として高次都市機能を集積	・区画整理の推進 ・高度利用化の検討 ・交通結節点の整備
④北大阪急行線の延伸	千里中央から箕面新都心までの延伸 (延伸延長約2.5km)	・路線決定 ・駅及び周辺施設の整備 ・交通ネットワークの検討
⑤第二名神自動車道	名古屋と神戸を結ぶ全長約165kmの高規格幹線道路 (箕面都市計画 約7.0km)	・I C及び周辺部の整備
⑥国道423号バイパス	箕面新都心、止々呂美地区、水と緑の健康都市、第二名神自動車道を結ぶ自動車専用道路 (箕面都市計画 約7.2km)	・他道路との接続
⑦国際文化公園都市モノレール	国際文化公園都市への主要なアクセス 万博記念公園駅から分岐延伸 (箕面都市計画 約1.0km)	・新駅設置の検討 ・交通ネットワークの検討

2-3 まちづくりに関する課題のまとめ

まちづくりの課題を以下のようにまとめる。

<ul style="list-style-type: none"> ①今後も住宅都市としての魅力を継承し発展していくことが望まれる ②あらゆる世代に対して利便性の高い生活環境づくりが望まれる ③都市活力を向上させる都市機能の充実と産業の育成が望まれる ④プロジェクトと市街化の進展に対応した基盤施設の整備が望まれる ⑤歴史的・文化的ストックを活かした個性あるまちづくりが望まれる ⑥自然資源の保全及び景観形成などへの活用が望まれる
--

2-4 市民意向

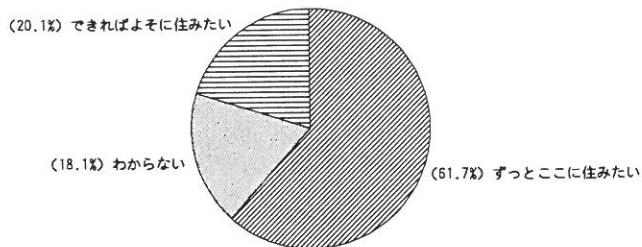
箕面市のまちづくりのためのアンケート調査及びまちづくりセミナー等の市民参加プログラムの実施をふまえ、本市の都市計画に関する市民の施策意向を整理すると大きく以下のとおりとなる。

(1) 箕面市のまちづくりに対する現状評価と課題

- 箕面市全体のまちづくりに対する市民の評価は、総合的には良好である。
- 豊かな自然をベースにした良好な都市イメージが形成されているとともに、箕面市に住むことに対して「誇り・ステータス」を感じることでできる都市イメージの形成が重要視されている。
- 市民が安心して、快適に暮らせるための基本的な都市機能に対する評価は概ね良好であるが、市内交通の利便性に対する評価は低い。
- 豊かな自然や文化的な生活環境に対する評価が、高いとともに重要視されており、箕面市独自のアイデンティティを形成している。

・ 定住意向

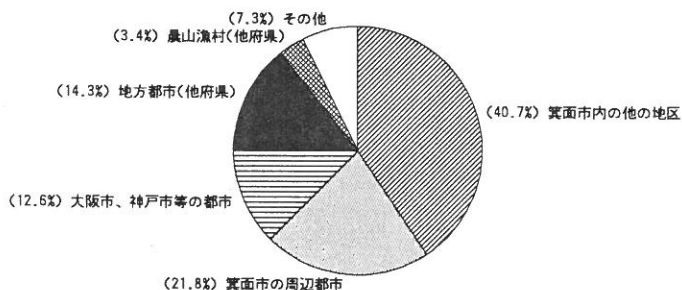
〈現住地における定住意向〉



回答者の約6割が現住地に定住を望んでいる。

また、全体の回答者の約2割が現住地から移動を望んでいるが、箕面市域外への転出を望んでいるのは、そのうちの約6割のため、実質的に箕面市域外への転出を希望する回答者は、全体の1割程度である。

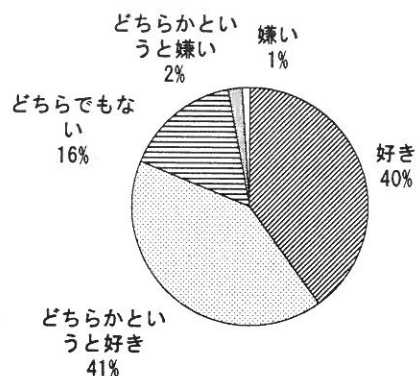
〈現住地からの移動を希望する回答者の転居先意向〉



以上から、箕面市のまちづくりに対する総合的な評価は、概ね良好であると判断される。

・ 都市イメージ

〈都市イメージの総合評価-「好き」・「嫌い」-〉



「好き」と「どちらかというとき好き」の合計は全回答者の8割を超えており、箕面市の都市イメージに対する総合的な評価は良好である。

〈都市イメージの特徴分析〉

順位	都市イメージ要素項目	回答率(%)	得点
1	安心できる	79.0	4.10
2	自然を大切にしている	77.3	4.00
3	清潔である	72.3	3.88
4	親しみやすい	66.8	3.85
5	田園的である	63.0	3.66

箕面市の都市イメージの特徴を代表する上位5つの都市イメージ要素項目を整理すると左表のとおりである。

回答率：「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた回答者の合計の比率
得点：「そう思う(5点)」から「そう思わない(1点)」までの加重平均点
標準は「どちらでもない(3点)」

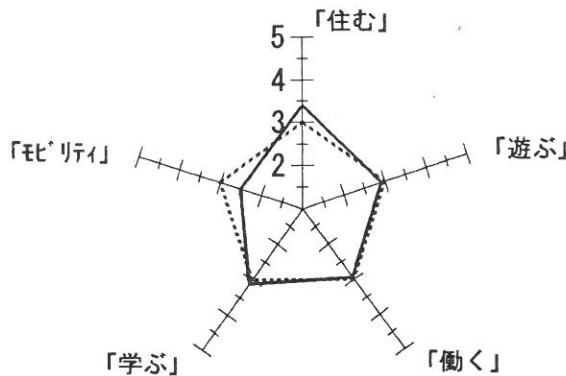
〈総合的な都市イメージ評価の要因分析〉

順位	都市イメージ要素項目	ステップワイス	得点
1	誇り・ステータスを感じる	0.2970	3.66
2	親しみやすい	0.1946	3.85
3	安心できる	0.1860	4.10
4	魅力的である	0.1544	3.64
5	明るい	0.0915	3.69

箕面市の都市イメージの総合評価との関連性が強い上位5つの都市イメージ項目を整理すると左表のとおりである。

ステップワイス係数：総合的評価との関連性を表す指標であり、大きいほど関連性が強く、回答者は重要視しているといえる。

・都市機能

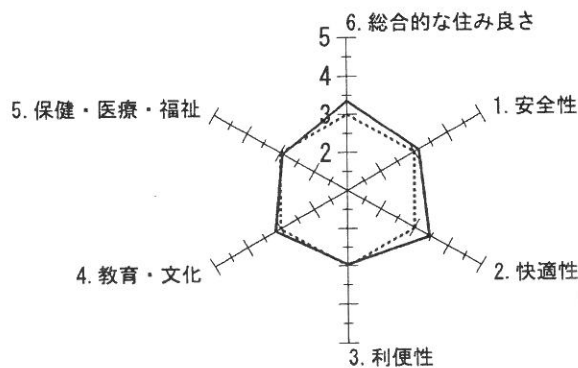


都市機能によって、評価の格差が表れている。

「住む(3.40点)」機能は良好であるが、「遊ぶ(2.92点)」「働く(2.94点)」「学ぶ(3.11点)」機能は標準(3.00点)レベルにとどまっており、「モビリティ(2.50点)」に対する評価は低い結果となっている。

—— 全市平均 —— 標準(3.00)

・生活環境



身近な生活環境の評価については、「総合的な住み良さ」は、3.35点で標準(3.00点)を上回っている。

その内訳については、「快適性(3.46点)」が、良好な評価を得ているものの、その他の「安全性(3.15点)」、「利便性(2.93点)」、「教育・文化(3.15点)」、「保健・医療・福祉(2.93点)」は、ほぼ標準(3.00点)レベルにとどまっている。

—— 全市平均 —— 標準(3.00)

〈生活環境評価の要因分析〉

順位	生活環境評価項目	ステップワイス	得点
1	生活必需品の買い物の便利さ	0.1439	3.10
2	まちなみの景観の良さ	0.1334	3.45
3	病院・診療所などの整備状況	0.1136	3.09
4	図書館や文化ホールの整備状況	0.1095	3.29
5	大阪都心への交通の便利さ	0.0937	3.07

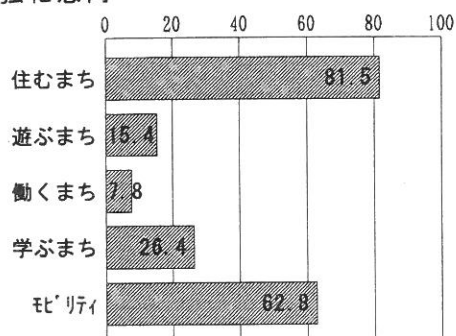
回答者が重要視する生活環境項目の上位5つを整理すると左表のとおりである。重要視する項目の評価(得点)は、いずれも標準を上回っている。

特に、「まちなみの景観の良さ」と「図書館や文化ホールの整備状況」に対する評価が高く、箕面市のアイデンティティの形成に寄与しているものといえる。

(2) 箕面市のまちづくりに対する市民意向

○さらなる住機能の高質化とモビリティの改善に対する市民意向が強く、良好な住環境とバランスのとれた商業機能の強化が求められている。

・都市機能強化意向



「住むまち」としての機能強化(得票率81.5%)と「モビリティ」の機能強化(同62.8%)に対する市民意向が強い。
(2項目選択方式)

・土地利用意向

土地利用の用途例	得点(注)
店舗施設	3.70
マンション	2.51
事務所	2.30
レジャー施設	2.37
工場・倉庫等	1.59
ガソリンスタンド等	2.74

「店舗施設」の拡充意向が表れている。「工場・倉庫等」の土地利用意向は、現時点では望まれていない。その他の土地利用意向については、「どちらでも良い」と「ない方が良い」の中間にあり、明確な利用意向は表れていないといえる。

(注)「望む(5点)」、「あっても良い(4点)」、「どちらでも良い(3点)」、「ない方が良い(2点)」、「望まない(1点)」をもとに得点化を行う。

(3) まちづくりセミナー等における市民意見

・素案パンフレットに対するアンケートにおける市民意見の特徴

番号	意見内容の分野	意見数
①	都市計画マスタープラン	300
②	交通対策	420
③	開発事業	45
④	商業施設の充実	22
⑤	文化・教育施設	43
⑥	住宅施策	49
⑦	緑・環境	164
⑧	福祉施策	36
⑨	防災対策	32
⑩	その他の公共施設	14
⑪	市の分掌外	7
⑫	その他	13

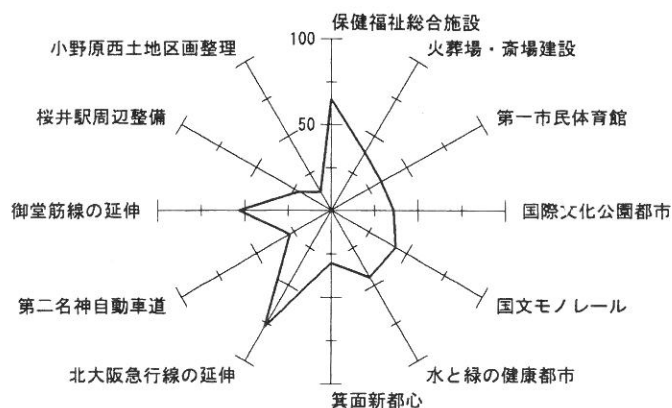
箕面市の都市イメージを代表する豊かな自然が回答者に高く評価されており、自然環境の保全に関する意見が多くあがっている。課題としては、交通問題が回答者の意識の中で大きな位置を占めていることがうかがえる。また、回答者の居住する地域によって、関心事項が比較的明確に分かれていることがいえる。

・まちづくりセミナーにおける市民意見の特徴

- ・まちづくりセミナー参加者においても、市内交通網(特に東西交通)の充実及び豊かな自然の保全に対する意見が多い。
- ・地域別のまちづくりに関するセミナー参加者の提案は、地域ごとに特徴があり、地域の個性を活かしたまちづくりを展開することの必要性がうかがえる。

(4) 都市計画事業に対する市民の関心度

○都市計画事業に対する市民の関心度は、箕面市のモビリティの構造的な変革に関連する事業が高くなる結果を得ている。



回答者の過半数が、関心を持っている事業は、「北大阪急行線の延伸」と「保健福祉総合施設」及び「御堂筋線の延伸」の3事業である。

特に、「北大阪急行線の延伸」については、回答者の4人の内3人が関心を示している。（注：複数回答による）

(5) 市民意向等からみた都市計画マスタープランの方向性

住宅都市としての機能及び環境のさらなる高質化と、広域交通軸等の都市構造の改革による、新たな箕面市の都市魅力を創出する。

箕面市は、市民による総合的な生活環境の評価は高く、自然環境をベースにした箕面らしい生活環境が形成されており、市民は高質な住宅都市としてのステータスを持っている。

今後、市民の生活スタイルが高質化・多様化する社会のながれの中で、住宅都市としての付加価値をさらに高める市民ニーズが表れることが想定される。そして、現在市民評価の低いモビリティが、関連都市計画事業の推進とともに強化されることをきっかけに、新たな都市機能や生活環境の整備ニーズが、顕在化してくるものと思われる。

以上をふまえ、本計画の方向性を整理すると次のとおりである。

○住宅都市としてのさらなる高質化

大阪都市圏における衛星都市として、今後も本市の基本テーマとして高質な住宅都市に相応しい都市イメージ、都市機能、生活環境の強化・改善を目指す。

○自然環境、文化をキーにした箕面市のアイデンティティあるまちづくりの展開

これまでの箕面市のストックである豊かな自然環境と文化性に富んだ生活空間などの特徴を活かした、箕面らしさをアピールできるまちづくりを展開する。

○モビリティの構造的な改善

都市構造のダイナミックな変革を推進し、市民の視点にたったモビリティの改善を図る。

○地域特性を活かした新しい箕面ライフの創出

以上のようなまちづくりの取り組みをベースにしなが、地域固有の特性を活かした多様で魅力ある箕面独自のライフスタイルを創出する。